

## 平成28年度 地下水保全顕彰制度

平成29年1月20日(金)に地下水保全顕彰委員会を開催し、審査の結果以下のように平成28年度の認定企業が決定しました。



顕彰委員会審査の様子



ハイコムウォーター株式会社



西部ガス株式会社熊本支社

今回認定された企業においても、今まで認定を受けた企業・団体と同様に、使用した地下水量を賄うためのかん養の取り組みや節水活動への参画など、様々な地下水保全活動を実践されており、今回ブロンズとして認定させていただくこととなりました。



# くまもと育水会

## Kumamoto Clear Water Alliance

VOL. 10

### 地下水倶楽部～キッズ・学生会員～ 会員募集中

財団では地下水倶楽部の会員を募集しています。地下水倶楽部は、くまもと育水会の準会員として位置付けられた、子ども向けの会員制度です。熊本地域の地下水に興味を持ち、地下水を大切にしながら地下水を知り、守る取り組みに積極的に参加する子ども達を募集中です。地下水倶楽部の会員向け会報誌の発行やバスツアーイベントなど行っています!

#### 対象

- キッズ会員 / 小学生以下
- 学生会員 / 中学生～大学生 (専門学校生を含む)まで

入会無料

#### 会員特典

- ①会員限定のくまモン缶バッジ(非売品)をプレゼント
- ②財団の田植えや稲刈り、水に関するイベント(財団主催以外でも可)に参加してスタンプを3つ集めるとプレゼントゲット!たくさん参加してスタンプを集めるといろんなプレゼントを手に入れます!

賛助会員様のお子様や、お知り合いのお子様には是非ご紹介ください。たくさんのお子様のお入会をお待ちしております!

※詳しくは財団HPまたは財団事務局までお問合せください

### 平成29年1月末までに、ご加入いただきました 会員の皆さまをご紹介します。

#### 企業

- 一般社団法人 熊本市医師会
- 井筒屋化学産業株式会社
- (株)ハウディ
- (株)あつまるホールディングス
- 熊本信用金庫
- (株)九州コボタ
- 熊本第一信用金庫
- 医療法人 村田会
- 熊本中央信用金庫
- 社会福祉法人 仁風会
- 一般社団法人 宇土地区医師会
- 一般社団法人 上益城郡医師会
- 南国殖産(株)熊本支店
- (株)レイメイ藤井
- (株)熊本銀行
- 一般社団法人 菊池郡市医師会
- 熊本県信用組合
- 医療法人尚和会 龍田病院
- 医療法人社団博文会 中嶋内科
- 医療法人 春水会 山鹿中央病院

#### 個人

- 林田 素行 ●永目 工嗣 ●船津 浩一
- 松崎 太成 ●藤本 仁 ●伊東 一成
- 猪口 浩二 ●眞杉 忠伸 ●村上 達也 (敬称略)

### 平成28年度 学術顧問会議



平成28年11月24日(木)、「学術顧問会議」を開催しました。平成28年度事業実施状況及び平成29年度事業計画について説明後、学術顧問の先生方に専門的・学術的アドバイスやご指摘をいただきました。アドバイスをもとに今後も事業を進めていきます。

### 平成28年度 第2回 通常理事会



平成29年2月7日(火)、「平成28年度第2回通常理事会」を開催しました。理事21名、監事2名、合計23名が出席のうえ、全ての議事が承認されました。また、事業の実施状況等についても報告しました。

- 議案第1号 / 平成28年度予算の補正(案)について  
議案第2号 / 平成29年度事業計画(案)について  
議案第3号 / 平成29年度予算(案)について  
議案第4号 / 評議員会の決議の省略(案)について

- 報告1 / 平成28年度事業(4月～1月期)に係る職務の執行状況(事業報告)について  
報告2 / サントリー-熊本地下水みらいプロジェクトについて  
報告3 / 地下水保全顕彰委員会での審査結果について



## 平成28年熊本地震を受けて熊本地域の地下水に関わるアンケート調査報告

平成28年4月の熊本地震により、地下水を主な水道水源としている熊本県内では長期間にわたる大規模な断水が発生し、一時は水前寺成趣園の池の水位も低下したため、熊本の地下水はどうなるのかと不安な声もあがっていましたが、幸いにも水前寺成趣園の池も元に戻り、「会報誌くまもと育水会Vol.9」で熊本大学嶋田名誉教授と東海大学市川教授の対談でもあったように、熊本の地下水に大きな変化は見られないとの話でした。

そこで、今後災害が発生した場合の地下水利用について参考となるよう、くまもと地下水財団の賛助会員と熊本市大口取水企業を対象に、地震発生時の地下水の変化状況や利用についてアンケートとヒアリング調査を実施しました。

### ●アンケート調査

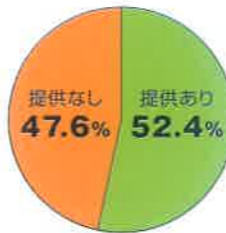
調査対象	財団の全賛助会員(318会員。個人会員を除く) 熊本市大口取水企業(34社:財団の賛助会員を除く)
調査期間	平成28年8月9日～平成28年9月30日
調査の方法	郵送配付。111社から回答。うち有効回答は107社(有効回答率:30.3%)

### 【アンケート調査結果】アンケートに答えた企業の半数は水を提供

アンケートに答えた企業で、平常時83%の企業が地下水を使用し、うち35%は地下水のみを使用している状況でした。地震後の地下水の変化については、46%の企業で濁りが確認されていましたが、この濁りは、早いところでは一日程度、遅いところでは2か月程度で回復しています。その他、管路の破損やポンプの停止等で一時的に取水出来なかったところもあったようです。

また地震後、52.4%の企業が地域住民等へ水の提供を行っており、今後の災害時の水の提供については、76%もの企業が提供できると回答されましたが、敷地内の立ち入りなど問題点も寄せられています。

災害時に水を確保する手段としては、給水車による給水や川などから水をくむことなどが考えられますが、地下水が豊富な熊本では、企業が周辺住民へ地下水を提供する事も可能だということがわかりました。



質問:地域住民等への水の提供を行ったか



写真提供: (公財)熊本市上下水道サービス公社

### 【ヒアリング調査結果】水を提供するなかでの問題点

#### ●ヒアリング調査

調査対象	病院:2、製造業:2、食品関係:2、水道事業者:2、その他:4 / 計:12社
調査期間	平成28年7月4日～平成28年8月26日の間の6日間
調査の方法	各社を訪問し、担当者に当時の状況等の聞きとりを実施

病院や製造業社にヒアリング調査を行ったところ、中規模な企業では地下水の提供が行われていたが、大企業になると蛇口の設置場所などが問題で、かえて給水が難しいとの意見もありました。また、水の提供が可能だとしても、敷地内の立ち入りなどに課題があり、提供の方法について検討する必要があることがわかりました。食品関係の企業では、敷地内への立ち入りや、地震による水質変化の懸念から、その水を検査前に提供することについての風評被害を危惧されていました。

熊本地震後に水を提供したところ、できなかつたところ、色々な方からお話をうかがいましたが、いずれの方々も、困っている住民の方役に立てればという気持ちを持たれていました。

#### ～手動ポンプを備えた災害用井戸について～

熊本県内には甲佐町に4基、熊本市に1基、災害用井戸が設置されており、今回の地震後は、熊本市内の民間企業の災害用井戸が使用され、近隣住民は自由に給水されていました。災害時には長期間の停電も考えられることから、手動ポンプを備えた井戸は有効であり、今後さらなる設置の展開を期待したいところです。



写真提供:全国さく井協会九州支部

### 一日本地下水学会主催「2016秋季講演会」において発表一

平成28年10月20日、21日に長崎新聞文化ホールにおいて、公益社団法人日本地下水学会が主催する「2016年秋季講演会」が開催され、財団職員が今回の調査内容を発表しました。

今回掲載している内容は、調査の一部であり、詳しい資料については財団ホームページに掲載しています。災害が起きた際、熊本の豊富な地下水を効果的に活用するため、災害時の地下水マネジメントについて企業や各自治体と情報共有を行っていきます。



## 水田オーナー制度

平成28年度水田オーナー制度は、6月10日、12日に田植えを行い、10月1日、10日に稲刈りを行いました。水田オーナー制度を実施している大津町真木地区の水田も、熊本地震で被害を受けましたが、ご協力いただいている農家のみなさまのおかげで、今年も実施することができました。

ご参加いただいたみなさまからは、「今回の地震で、水の大切さがわかった。」「熊本の水や農業のためにできることをやりたい。」とお話もお聞きしました。

お米を作って地下水を育む水田オーナー制度。この制度は、企業の参加はもちろん、個人、ご家族などで気軽に参加できるメニューになっております。ご興味がある方は、財団事務局までお問合せください。

## 地下水を育むバスツアー

平成28年11月28日、今年も「地下水を育むバスツアー」を開催しました。例年は会員企業を訪問させていただき、地下水保全の取り組み等をご紹介いただいておりますが、今年度は熊本地震で多くの皆さまが水の大切さについて改めて実感されているのではないかとのお思いから、水道施設や防災井戸の見学を行いました。

参加者からは「取水から生活用水として使用した汚水が処理されるまでがわかり興味深かった。」「震災時の水道局の方々の対応に感激した。」「防災井戸の利用は参考になった。」などのご意見をいただき、改めて熊本地域の水について再認識する機会となったのではないのでしょうか。



## 第2回 水の国高校生フォーラム

平成28年10月9日、熊本県、熊本市、(株)テレビ熊本と協働し「第2回水の国高校生フォーラム」を熊本テルサで開催しました。

今回は熊本地震の影響で、当初予定されていた時期から延期となりましたが、多くの高校生が参加しました。

「熊本地震と地下水」と題して東海大学の市川教授が特別講演され、参加者は、真剣に聞き入っていました。また、高校生自身が発表者として自分たちの水に関する取り組み等を紹介したり、水に関するクイズに挑戦したりと若い世代が熊本の地下水に興味を持つ良いきっかけになったのではないのでしょうか。



## ウォーターオフセット事業にご賛同いただきました

今年度は「地下水を育む米」1485kgの注文をいただきました(平成28年11月末時点)。これは熊本地域の地下水29,700㎡のかん養に貢献したことになります。

来年度以降もウォーターオフセット事業を行っていく予定です。(仲介販売は10月～11月注文受付予定)

ウォーターオフセット事業にご賛同いただいた皆様のご紹介はこちらをご覧ください。

くまもと地下水財団ホームページ / <http://kumamotogwf.or.jp>

くまもと地下水財団

検索

地下水を使っている私たちが地下水を育む農畜産物を食べることで、地下水保全に取り組みます!



## 水源涵養林「育水の森」間伐

財団が西原村に所有する「育水の森」の間伐を、今年度も実施しました。新たな取り組みとして、林地残材を減らすことを目的に、間伐した木を木質バイオマス材として活用を図りました。木材市場で売れない木は、発電や紙パルプの原料として積極的に有効活用を図っています。



## 江津湖湧水量調査を継続中

今年度は熊本地震により江津湖の湧水量の変化が懸念されましたが、例年に比べ、極端に大きな変化は見られていません。ただ、例年と異なる傾向が見られる月もあり、地震の影響等を把握するための基礎資料として、今後も継続的に調査を行い、関係者との情報共有を図っていきます。

